

発 明 届

1. 発明考案の名称	
第 2 案	
第 3 案	

(発明(考案)の権利範囲がおよぶ限り広い名称を用いて簡単明瞭に表現して下さい)

発明考案者	フリガナ氏名	フリガナ住所
	フリガナ氏名	フリガナ住所
	フリガナ氏名	フリガナ住所
出願人 (権利者)	フリガナ氏名	フリガナ住所
	フリガナ氏名	フリガナ住所
	フリガナ氏名	フリガナ住所

2. 特許(実用新案登録)請求の範囲

発明(考案)の詳細な説明に記載した範囲で、発明(考案)の目的・効果を達成するための必要最小限の事項のみを書いて下さい。この場合、「aとbとc……」と言う具合に各構成要素を単に羅列せずに、「a, aに接続するb, bに嵌合するc……」と言う具合に各構成要素を互に関連づけて書いて下さい。尚、発明(考案)の作用・効果は原則としてここには書かないで下さい。

各構成要素に対する代替技術があれば、それを箇条書して下さい(例、aはa でも良い。aはa ”でも良い。bはb でも良い。cはc ”でも良い)。これを実施態様項と言います。

そして、全ての代替技術に共通する上位概念(例、A、B、C)で最初のものを書き直してこれを第1項にし(主クレーム)、最初のものは代替技術として実施態様項にして下さい。

(原稿用紙に一行おきに記載して下さい)

3. 発明(考案)の詳細な説明

a (産業上の利用分野)

この発明・考案はどんな技術分野に属するものであるかを簡単に説明する。〔例 この発明(考案)は、広くは……に関し、特に……(この技術の特徴部分の記載)に関する。〕。

b (従来技術)

この発明(考案)以前にどのようなものがあったかを(出来れば公報等の出典と共に)記載して下さい。この場合、この発明(考案)に最も近い従来例を記載しなければなりません。そして、それがどのように構成されているかを(出来れば各部分に説明順に符号をつけた図面を用い)説明して下さい。従来技術が分からなかったり、ないと思われたり、見当たらない場合は、この発明以前は仕方なしにどのようにしてその不便をしのいでいたかを記載して下さい。技術が非常に特異で専門的で一般には分かり難い場合は、その技術がどのようなものから発達したのかの変遷の歴史を極く簡単に書いて下さい。

c (発明(考案)が解決しようとする問題点)

ここでは、「従来技術の欠点」を書いて下さい(従来技術のこの部分がこうこうこうなっていたために、操作に手間どったとか、コスト高となったとか………することが必要だったとか、回路が複雑になったとか等書いて下さい)。尚、その欠点を生じる理由(原因)をも書くとわかり易くなります。

d (問題点を解決するための手段)

従って、この欠点を解決するためにどのような手段を採用したか、特許(実用新案登録)請求の範囲の記載の範囲でわかり易く記載して下さい。最初に、その改良点を述べて、次に特許(実用新案登録)請求の範囲第1項に記載したものをそのまま用いるか、これをそのまま写さずに、短いセンテンスに区切ったり、前後入れ替える等して分かり易い文章に書き直して下さい。

(原稿用紙に一行おきに記載して下さい)

e (作用)

この発明(考案)の各部分がどのように動作するかを説明して下さい(例 AがBを押しそれによりCが稼働する)。

f (発明(考案)の効果)

この発明(考案)の特徴を書いて下さい(例 どこそこをどのように改善した故にと言うメリットが生じた)。

g (発明(考案)の実施例)

イ 実施例の構成の詳細な説明

ここでは、「問題点を解決するための手段」に使用した文章を利用し、各部分の部品とか回路とかを「具体的な名称」に変え、それ等の部品や回路等がどのように関連(つながり等)を有しているのか「具体的な用語」で記載して下さい。必要により、これがどのように稼働するのかの具体的な動作の説明を加えて下さい。

図面中の符号1, 2, 3, ……は構成の説明をしていく順に採番してゆき、図面数が多くなっても同一部分は同一符号で統一して下さい。複数個の部品で構成される部分全体を表示する場合には、矢印を使用するか符号にアンダーラインを入れて下さい。

ロ 他の実施例の説明

実施態様項で記載した代替技術の全てをここに書いて下さい。それ以外にも考えられる限りの代替技術を出来るだけ多く書いて下さい。そして必要があれば図面を追加して説明して下さい。この項では構成と効果(長所)や動作の説明はまとめて書いても良いですが、或る代替技術のみに特有のものは、その代替技術のみに特有のものとして断って書いて下さい。

コンピュータプログラムによる制御動作は、必ずフローチャートを図示して説明して下さい。

(原稿用紙に一行おきに記載して下さい)

4. 図面の簡単な説明

図面が従来技術のものか、この発明(考案)の一実施例のものか(更にその別な実施例のものか)、又、何を示すかを簡単に説明する(例 第1図は、この発明(考案)の一実施例の正面図である。第2図は、その 部分の拡大側面図である。第3図は、従来技術の……装置を示す一部省略の側面断面の端面図である。)

図面の説明の終わりに、請求の範囲に記載した構成要素の名称(これに対応の実施例に使用の具体的な名称でもよい)と符号を書く。

(原稿用紙に記載して下さい)

スペースの足りない所はその欄と同じ数字を書いた原稿用紙に一行おきに記載して下さい。